

「第1回 上手な医療のかかり方アワード」の本県の取組の受賞について

3月2日(月)に厚生労働省が開催した「第1回 上手な医療のかかり方アワード」表彰式において、岩手県の「県民みんなで支える岩手の地域医療推進会議」の取組が、厚生労働大臣賞(最優秀賞)に次ぐ「厚生労働省医政局長賞 自治体部門優秀賞」を受賞したのでお知らせします。

1 上手な医療のかかり方アワードについて

(1) 上手な医療のかかり方アワードについて

厚生労働省において、『いのちをまもり、医療をまもる』国民プロジェクト宣言!』の下、医療機関の適正受診等について国民への普及啓発に取り組むこととしており、医療のかかり方の改善等に資する優れた取組を表彰する本アワードが本年度スタートしたものです。

(2) 岩手県の取組について

国に先駆けて、平成20年度から「県民みんなで支える岩手の地域医療推進会議」を設立し、医療機関の適正受診、自分の健康は自身で守ることの重要性などの普及啓発に取り組んできたところであり、これまでの取組をまとめ、本アワードに応募していたもの。

(3) 受賞について

「厚生労働省医政局長賞 自治体部門優秀賞」は厚生労働大臣賞(最優秀賞)に次ぐ賞であること。

【参考】表彰の対象

- ・厚生労働大臣賞(最優秀賞) 1件
- ・厚生労働省医政局長賞(優秀賞)(自治体、保険者、医療関係、企業、民間)各部門2件以内

【参考】「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクト宣言! について

厚生労働省の「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」において、医師等の医療従事者の長時間労働など、深刻な医療現場の状況を踏まえ、医療を守るために、国、自治体、医療提供者、民間企業、市民社会など、全ての人参加・行動すべき国民的プロジェクトとして、『いのちをまもり、医療をまもる』国民プロジェクト宣言!』が発出されたもの。

【参考】『いのちをまもり、医療をまもる』国民プロジェクト宣言!』の5つの方策

- ① 患者・家族の不安を解消する取組を最優先で実施すること
- ② 医療の現場が危機である現状を国民に広く共有すること
- ③ 緊急時の相談電話やサイトを導入・周知・活用すること
- ④ 信頼できる医療情報を見やすくまとめて提供すること
- ⑤ チーム医療を徹底し、患者・家族の相談体制を確立すること